



関沢小だより



校長 関口 循子

学びあい・高めあい・認め合う



1月28日(火)に富士見市立体育館で「富士見市小学校特別支援学級交流会」が行われました。富士見市の小学校では、1校を除きすべての学校に特別支援学級が設置されています。そこに在籍する児童が一堂に会して行われた交流会。実は初めての試みとのこと。新型コロナウイルスが流行っていたころには考えられなかったことでしょうか。富士見特別支援学校の小学部の児童も含め、総勢150名ほどの児童が「名刺交換」に始まり、「デカパンレース」や「誕生月のお友達」など学校の垣根を越えて、交流会が行われました。

特別支援学級は文字通り「その児童に必要な特別な支援を受けながら学習する学級」です。では、どのような支援を必要とする児童がいるのでしょうか……

①自分のペースで学習したい ②静かな場所で心を落ち着けたい ③学習内容を目で見て理解することが得意 ④不安な気持ちが強いので安心できる環境が欲しい などなど一人一人違ってきます。そこで、少人数の学級(1学級定員8名)で対応を丁寧に行えるよう特別支援学級があります。

本校のさくら学級の児童は、必要な支援をさくら学級で受けながら、学年の授業も受けています。「できることはチャレンジする」それぞれの学級の児童と常に学び合い・高め合い・認め合うことで、子供たちの心も大きく広く成長していくのでしょうか。楽しみです。

中学生の大きな「おはようございます」の聲が、校門に響いています。1月最終週の月・水・木・金の4日間に「あいさつ運動」が行われました。垂れ幕を持った中学生の団が校門を席捲!!その脇から関小代表委員会が……頑張っています。

保護者の皆さんにご協力いただいた「教育活動アンケート」に、「我が子は、あいさつ・返事・くつそろえ等当たり前のことを当たり前にできる」という質問項目があります。結果は、A:35%、B:50%、C:25%とB評価が半数を占めています。中学生の力もかりつつ、あいさつを頑張っていきます。

先日、鶴瀬西地区賀詞交歓会に参加させていただきました



「関小の児童はあいさつができるね。」「見守りの時に、さようなら、ありがとう。と言われてうれしいです。」「畑がきれいになってよかったね」福祉施設の方からは、「短冊にかわいい願い事を書いてくれたんですよ。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。「あいさつが返ってこなくて、寂しいよ……」という声もあり、時代を反映しているなあと感じながらも、お話集会で児童に伝えました。褒められたことを聞き、児童は自信につながっていたようです。教職員はあいさつ指導を再確認しました。地域・家庭のご支援・ご理解が本校の教育活動の礎です。今後も共に児童の成長を後押ししていけたらと願っています。

- ☆14日（金）は職員が富士見市教育研究会研究発表会に参加するため、児童は13時下校となります。また、1年1組は同研究発表会の公開授業がありますので、5時間目終了後に下校します。下校班を組んで帰りますが、1クラスだけでの下校となりますので、同じ方面の児童が少ないかもしれません。また、職員は、その後の研究協議会に出席するため下校の見届けができません。保護者の皆様には、下校の安全の見守りにご協力をお願いします。
- ☆7日（金）は6年生の社会科見学のため、6年生は登校班で登校しません。5年生以下で登校します。班長がない班もありますので、ご確認をお願いします。

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度は、日々の学習に加え、学校行事や校外学習、ゲストティーチャーや講師を招いてのワークショップなどを実施してまいりました。そのような学校の教育活動に対して、貴重なご意見をいただきました。いただいた意見を全教職員で共有しながら引き続き教育活動の充実に努めてまいります。子供達のために保護者のご意見にも耳を傾けながらその時にできる一番良い形を模索していきます。よりよい学校とするために今後ともアンケートへのご協力をお願いいたします。回答数が昨年よりも少ないので回答できる期間を延ばします。ご協力いただける方は回答をお願いします。

第3回 学校運営支援者協議会

今年度のまとめとして年間の学校教育活動に対してご意見と評価をいただきました。学校関係者評価として、教職員自身で実施した学校評価と保護者アンケートに対して概ね適切であると委員の皆様から評価していただきました。また、改善点についてもご意見を頂戴いたしました。家庭や地域の課題についても協議を行い、学校・家庭・地域が連携して子供達の健全育成に努めることを確認しました。

小中合同のあいさつ運動

1月27、29、30、31日に、西中学校の生徒会と代表委員によるあいさつ運動を行いました。

先輩達が笑顔でしっかりとあいさつをしてくれました。

代表委員の子達も最初は、恥ずかしそうにしていたですが、日を追うにつれしっかりとできるようになっていました。

学校だけではなく家庭や地域でもあいさつの輪が広がるといいです。



1月29日に6年生が、きらり☆ふじみのアウトリーチプログラムで、金管五重奏の鑑賞とワークショップを行いました。実際に楽器に触ったり、演奏を間近に聴いたりして、金管楽器の魅力に子供たちは目を輝かせていました。



1月18日の土曜公開授業の時に、5年生は福祉体験を行いました。行ったものは、○ブラインドサッカー○点字○車いす○高齢者体験○アイマスクと白杖です。様々な体験を通して、相手のことを思いやる気持ちが大切なことに気づきました。

